2025 年 3 月 21 日

各位

株式会社 みなと銀行

メガソーラー規模の営農放牧型太陽光発電システム事業に対する融資実行について
～株式会社町おこしパートナーと融資契約締結～

りそなホールディングスの みなと銀行（社長 武市 寿一）は、株式会社町おこしエネルギー（代表取締役会長兼社長 沼田 昭二、以下「町おこしエネルギー」）の子会社である株式会社町おこしパートナー（代表取締役 沼田 昭二、以下「町おこしパートナー」）に対し、メガソーラー規模の営農放牧型太陽光発電システム（以下 ソーラーグレージング®）を資金使途とする融資を実行しました。

町おこしエネルギーは、「日本の食糧自給率 UP」「純国産再生可能エネルギーUP」を大義に、第一次産業と太陽光・地熱発電などを組み合わせた先進的な事業に取り組んでいます。

本件融資による調達資金は、令和 5 年度経済産業省資源エネルギー庁「需要家主導太陽光発電導入促進事業」として、株式会社町おこしエネルギー及び株式会社町おこしパートナーが直接企画・実行する太陽光発電事業に係るプロジェクトに充当されます。株式会社町おこしエネルギーが開発した「ソーラーグレージング®」に対する融資実行は、金融機関として初めての事例となります。

みなと銀行は、再生可能エネルギーの普及に真摯に取り組む地域事業者を、今後も積極的に支援して参ります。

１．本ローンの概要

契約締結日	2025 年 2 月 28 日
契約金額（総額）	496,000 千円
資金使途	太陽光発電事業に係る設備導入資金
SDG s の貢献	

2.本件融資の対象となるプロジェクトの詳細

目的	融資金額
太陽光発電設備導入（北海道釧路市鶴丘）	255,000 千円
太陽光発電設備導入（北海道白糠郡白糠町和天別）	241,000 千円
合計	496,000 千円

３．企業概要

会社名	株式会社町おこしエネルギー
所在地	兵庫県加古川市平岡町新在家１３７９番地の１
代表取締役会長兼社長	沼田 昭二
事業内容	エネルギー管理システムの開発・運用 新電力開発・発電事業、発電事業に付随する町おこし事業

会社名	株式会社町おこしパートナー
所在地	兵庫県加古川市平岡町新在家１３７９番地の１
代表取締役	沼田 昭二
事業内容	太陽光等の再生可能エネルギーによる発電事業

４．「ソーラーグレージング®」の概要

ソーラーグレージング®とは、太陽光発電事業と営農放牧事業を組み合わせたもので、羊などの家畜による除草作業を含む植生管理方法を採用した太陽光発電事業です。

営農放牧事業を発電事業者から受託する営農放牧事業者は、太陽光発電所の敷地内で羊を放牧し、植生管理サービスを提供することにより収入を得ます。発電事業者は、羊による「自然草刈り」を利用することで太陽光パネル間に繁茂する雑草を抑制できます。羊にとっては、クローバーなどの雑草を容易に摂ることができるほか、パネルの日陰で暑さを凌ぐことができるというメリットがあります。

町おこしエネルギーは、太陽光発電事業においては切り土や盛り土はせず地形をそのまま生かすことが環境への負荷軽減に資するとして、このビジネスモデルを開発し、特許を取得（特許第 7487963 号「営農放牧型太陽光発電システム」）しています。

※ソーラーグレージング施設イメージ